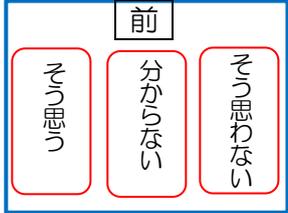


総合的な学習の時間（人権学習）				
タイトル 「子どもの権利条約」を私とあなたとみんなのものに				
テーマ・目標 子どもの権利条約を知り、自分や世界の子どもたちにとって保障されなければならない権利について考えるとともに、自他の権利を意識し、お互いの人権を尊重しようとする意欲を持つ。				
対象学年 小学校高学年			時間 90分	
時間	学習活動	指導上の留意点	資料等	
1 25分	ゲーム「立ち止まって考えてみよう」をすることにより、子どもの権利条約の内容を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの権利条約に関わる質問をし、「そう思う」「そう思わない」「分からない」の中から自分の考えにあうところへ移動する。（右図） ○一問ごとに選んだ理由を数名に質問し、次の質問に移るようにする。 ○質問する児童や回答に悩む児童がいたら、質問内容や悩んだ理由を聞いて、クラス全体で共有する。 	【資料1】質問例 <div style="text-align: center;"> 教室 前  </div>	
2 20分	子どもの権利条約の概略を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○資料2を配付し、子どもの権利条約について説明する。 ○資料3を配付し、資料1の質問と関連する条文について補足説明をする。 ○資料4を配付し、Iに気付いたことや感想を記入させる。 	【資料2】子どもの権利条約ってなんだろう 【資料3】条文カード集 【資料4】ふりかえりシート	
3 30分	事例と関連がある条文を選び、選んだ理由を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○3～4人のグループをつくり、資料5から1つの事例を選ばせる。 ○事例と関係があると思う条文カードを選ばせ、模造紙に貼らせる。 ○各グループの代表者に、選んだ事例、選んだ条文カード、その条文を選んだ理由を発表させる。 	【資料5】事例カード 【資料3】条文カード（切ったもの）	
4 15分	まとめと振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○資料4のIIに、気付いたことや感想を記入させる。 ○自分たちの学級で大切にしたいと思う権利の条文を資料3の中から選び、切り取ってシートに貼らせる。 ○自分たちの学級で大切にしたいと思う権利の条文を発表し、自他の権利を尊重することの大切さに気付かせる。 		

※ この学習プログラムは、各校に配付している「人権教育指導資料Ⅲワークショップ下」にある「生きる、育つ、守られる、参加する ～「児童の権利に関する条約」をわたしとあなたとみんなのものに～」を参考に作成しています。資料2、3、5は「人権教育指導資料Ⅲワークショップ下」をご参照ください。

総合的な学習の時間（人権学習）				
タイトル 引き裂かれた家族 ～拉致問題について考える～				
テーマ・目標 北朝鮮当局による拉致問題について理解を図るとともに、被害者が奪われた権利について考えることを通して、拉致問題が重大な人権侵害であることを認識する。				
対象学年 小学校高学年			時間 45分	
	時間	学習活動	指導上の留意点	資料等
1	5分	「拉致問題」について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ブルーリボンの画像を示して、意味を尋ね、児童の理解を確認する。 ○資料6を配付し、拉致問題について説明する。 	ブルーリボンの画像 【資料6】日本人拉致問題とは？
2	25分	アニメ「めぐみ」を視聴する。	○視聴後、岡山県でも、北朝鮮当局によって拉致された可能性を排除できない人が存在していることを伝え、他人事ではなく、自己の課題として捉えさせる。	アニメ「めぐみ」
3	10分	拉致によってめぐみさんが奪われた権利について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○資料3の条文カードの中で、めぐみさんが拉致によって奪われた権利にはどんなものがあるかで考えさせる。 ○発表させ、奪われた権利を「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の視点で整理する。 	【資料3】条文カード集
4	5分	拉致被害者の家族の思いを知り、拉致問題への関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ○拉致問題解決を願ってつくられた歌を紹介して、拉致問題を風化させないための取組を伝えてまとめとする。 ○拉致は北朝鮮当局が行った行為で、北朝鮮の一般の人々は拉致問題について知らされていない人がほとんどであることを伝え、北朝鮮に関係する人々に対する新たな差別意識を生まないように配慮する。 	空と海の向こう SONG FOR MEGUMI

「立ち止まって考えてみよう！」 質問例

- ① 子どもはだれでも生きる権利をもっている。(6条)
- ② 何かするときの順番は、女の子より男の子をさきにするほうがよい。(2条)
- ③ すべての子どもには、自由に遊ぶ権利がある。(31条)
- ④ わたしたちは、教室で自分の考えを自由に言うことができる。(12, 13条)
- ⑤ 授業にあきたら、大きな声を出してストレスを発散させるのは自由だ。(28, 29条)
- ⑥ 親は、自分の子どもの日記や手紙を見てもよい。(16条)
- ⑦ お金が必要なときは、小学生の子どもも学校に行かずに、働くべきだ。
(26, 27, 28, 32条)
- ⑧ 戦争になれば、子どもも兵隊として戦争に行かなければならない。(38, 39条)

() は、関連する「子どもの権利条約」条文

【資料4】 ふりかえりシート

わたしたちの「子どもの権利条約」

年 組 ()

☆この活動をして気付いたことや考えたことを書きましょう。

I <「立ち止まって考えてみよう！」ゲーム>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

II <子どもの権利条約カードゲーム>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

III わたしの学級でも大切にしたいな
この「子どもの権利条約」

.....

日本人^ら拉^ち致問題とは？

1970年頃から80年頃にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在、17名が政府によって拉致被害者として認定されています。

北朝鮮は日本人を拉致したことを認めてきませんでした。2002年9月に拉致を認め、10月に5人の被害者が帰国しました。しかし、12名の被害者については、いまだに北朝鮮から納得のいく説明はありません。日本政府は、北朝鮮に対し、認定の有無にかかわらず全ての拉致被害者を一刻も早く帰国させるように、強く求めています。

※「拉致」とは、むりやり連れ去られること

政府によって認定されている17名の拉致被害者

1 1977年9月19日
宇出津(うしつ)事件
久米 裕さん
(52・石川県)
石川県宇出津海岸付近にて失踪。安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)



2 1977年10月21日
女性拉致容疑事案
松本 京子さん
(29・鳥取県)
自宅近くの編み物教室に向かったまま失踪。安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)



3 1977年11月15日
少女拉致容疑事案
横田 めぐみさん
(13・新潟県)
新潟市において下校途中に失踪。安否未確認。(北朝鮮は「自殺」と主張)



4 1978年6月頃
元飲食店店員拉致容疑事案
田中 実さん
(28・兵庫県)
欧州に向け出国した後失踪。安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)



5 1978年6月頃
李恩恵(リ・ウネ)拉致容疑事案
田口 八重子さん
(22・不明)
安否未確認。(北朝鮮は「交通事故で死亡」と主張)



6 1978年7月7日
アベック拉致容疑事案
地村 保志さん
(23・福井県)
地村 富貴恵さん
(旧姓：濱本) (23・福井県)
「二人でデートに行く」と言って出かけて以来、失踪。
2002年10月帰国。



7 1978年7月31日
アベック拉致容疑事案
蓮池 薫さん
(20・新潟県)
蓮池 祐木子さん
(旧姓：奥土) (22・新潟県)
蓮池さんは「ちょっと出かける。すぐ帰る」と言って外出したまま失踪。同様に奥土さんも外出したまま失踪。
2002年10月帰国。



8 1978年8月12日
アベック拉致容疑事案
市川 修一さん
(23・鹿児島県)
増元 るみ子さん
(24・鹿児島県)
「浜に夕日を見に行く」と言って出かけたまま失踪。安否未確認。(北朝鮮は「心臓麻痺で死亡(市川さんは海水浴中)」と主張)



9 1978年8月12日
母娘拉致容疑事案
曾我 ひとみさん
(19・新潟県)
曾我 ミヨシさん
(46・新潟県)

「2人で買い物に行く」と言って出かけて以来失踪。ひとみさんは2002年10月帰国。ミヨシさんは安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)




11 1980年6月中旬
辛光洙(シン・グァンス)事件
原 勲 さん
(43・宮崎県)

宮崎県内で発生。安否未確認。(北朝鮮は「肝硬変」で死亡と主張)



10 1980年5月頃
欧州における日本人男性
拉致容疑事案
石岡 亨 さん
(22・欧州)
松木 薫 さん
(26・欧州)

欧州滞在中に失踪。安否未確認。(北朝鮮は石岡さんは「ガス事故で死亡」、松木さんは「交通事故で死亡」と主張)

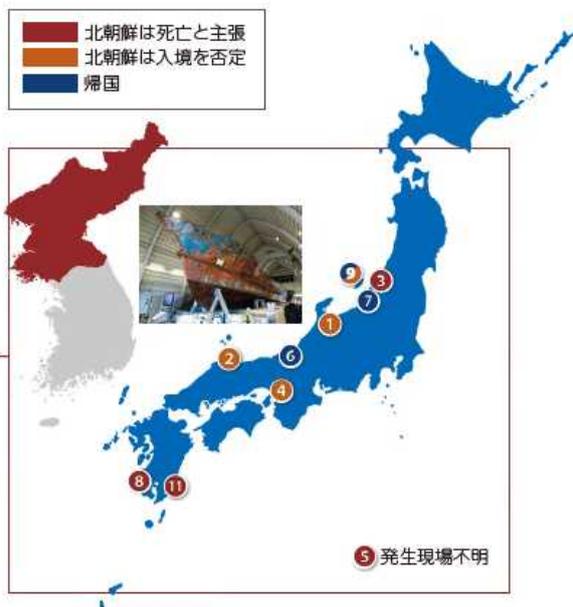



12 1983年7月頃
欧州における日本人女性
拉致容疑事案
有本 恵子 さん
(23・欧州)

欧州にて失踪。安否未確認。(北朝鮮は「ガス事故で死亡」と主張)



拉致被害者の失踪場所



拉致の可能性を排除できない人 883名

現在、日本政府は北朝鮮に拉致された被害者として17名を認定していますが、さらに、拉致の可能性を排除できない人として883名(2017年4月現在)に関して、国内外からの情報収集や捜査・調査を続けています。

【なぜ日本人を拉致したの?】

真相はわかりませんが、これについては、次のような説があります。すなわち、北朝鮮は、朝鮮戦争(1950年~1953年)の休戦後も、韓国を社会主義化して朝鮮半島を統一しようとしてきました。しかし、当時、韓国人をよそおって北朝鮮から韓国にスパイを送り込むことは難しかったので、日本人をよそおって韓国にスパイを送り込むという方法が考えられました。そこで、日本人を北朝鮮に連れ去った上で、北朝鮮のスパイをその日本人になりすませたり、その日本人を北朝鮮のスパイに日本の習慣や日本語を教える先生にしたりしようとして、日本人を拉致したというのです。

(政府 拉致問題対策本部HPより www.rachi.go.jp)